

第7回

'96選抜女子駅伝 北九州大会

□ 期 日 / 1996年1月21日 (日)
□ コース / 小倉北区・北九州市役所前—
八幡西区・北九州プリンスホテル折り返し
折り返し 32.8km

一般・大学の部 5 区間 高校の部 6 区間

順位

一般・大学の部

1	沖電気宮崎(宮崎)	◎1°43'49"
2	日本生命(大阪)	1°47'08"
3	岩田屋(福岡)	1°47'23"
4	天満屋(岡山)	1°47'31"
5	ニコニコドー(熊本)	1°48'13"
6	九電工(福岡)	1°49'25"
7	丸久(山口)	1°49'56"
8	鐘紡(山口)	1°50'05"
9	TOTO(福岡)	1°50'10"
10	十八銀行(長崎)	1°51'56"
11	ベスト電器(福岡)	1°52'57"
12	NEC九州(熊本)	1°54'41"
13	九州女子大学(福岡)	1°59'21"

区間賞

第1区(4.5km)	浦 紀子(十八銀行)	★13'26"
第2区(5.9km)	岡本 幸子(沖電気宮崎)	18'56"
第3区(5.1km)	増田 裕美(沖電気宮崎)	★15'58"
第4区(5.9km)	徳丸 幸子(沖電気宮崎)	19'31"
第5区(11.4km)	王 明霞(ニコニコドー)	35'44"

◎は大会新、★は区間新

高校の部

1	筑紫女学園(福岡)	1°48'31"
2	西京(山口)	1°49'22"
3	熊本市立商業(熊本)	1°49'57"
4	九州国際大付(福岡)	1°49'58"
5	宮崎工業(宮崎)	1°50'14"
6	鹿島実業(佐賀)	1°50'50"
7	柳川(福岡)	1°51'34"
8	松山商業(愛媛)	1°51'58"
9	神村学園(鹿児島)	1°52'34"
10	近畿大付福山(広島)	1°53'01"
11	諫早(長崎)	1°53'18"
12	豊見城南(沖縄)	1°54'56"
13	山田(高知)	1°55'09"
14	大分女子(大分)	1°55'19"
15	北九州市選抜(福岡)	1°56'10"
16	八頭(鳥取)	1°57'09"
17	就実(岡山)	1°57'12"
18	開星(島根)	2°00'08"

区間賞

第1区(4.5km)	藤田 貴子(諫早)	13'51"
第2区(5.9km)	吉村かおり(西京)	19'09"
第3区(5.1km)	杉尾美由紀(宮崎工)	16'27"
第4区(5.9km)	市丸 愛(筑紫女学園)	20'05"
第5区(4.9km)	橋本 麻子(筑紫女学園)	16'25"
第6区(6.5km)	山元 愛(筑紫女学園)	20'33"



大会新記録でゴールする沖電気宮崎・川上優子

一般・大学の部

沖電気宮崎が大会新で3回目の優勝 2位に3分19秒差の圧勝

沖電気宮崎が2区から区間新を含む3つの区間賞で、2位の日本生命に3分19秒差をつける圧勝。1時間43分49秒の大会新記録で4年ぶり3回目の優勝を果たした。

1区は初出場の十八銀行・浦紀子が2km過ぎの上り坂を利用して意欲的に前に出て、天満屋の松尾和美、沖電気の太宅美鈴を振り切り、区間新を打ち立てた。

2区でタスキを受けた直後に2位に上がった沖電気の岡本幸子は1km過ぎで先頭に立ち、快調なペースで独走態勢に。中継所で2位の岩田屋に早くも46秒差をつけた。3区の増田裕美は区間新記録、4区・徳丸幸子も区間賞の快走でさらに差は広がり、アンカー川上優子は余裕の走り。2位に3分以上の大差をつけてゴールテープを切った。

2位以下の争いは熾烈。残り1kmで並ばれた日本生命が岩田屋の猛追をかわして2位。岩田屋が今年のチーム記録を2分47秒縮める健闘で3位。3連覇を狙った天満屋は4位。1区11位と出遅れたニコニコドーはアンカー王明霞が区間賞を獲得したが、5位にとどまった。

広島日出国・沖電気宮崎監督「(全日本実業団駅伝でも3位に躍進し)今はムードが盛り上がり最高状態だ」

川上優子・沖電気宮崎5区「みんなには次の人が少しでも楽になれるように走ろう、とだけ言っていました」

高校の部

筑紫女学園が3年ぶり4回目のV 最終区で西京を逆転

筑紫女学園が中盤から底力を発揮し、先行する西京を最終6区で大逆転して3年ぶり4回目の優勝を飾った。

1区は諫早の藤田貴子が柳川、筑紫女学園、西京などを抑えてトップでタスキを渡した。2区では西京の吉村かおりが一般も含めて10人抜きで首位に。西京は3区の山本奈美枝も区間2位の力走、2位の柳川に約50秒の差をつけた。

しかし、筑紫女学園は9位でタスキを受けた4区の市丸愛が区間賞の快走で2位に浮上。5区の橋本麻子も区間賞を奪い、西京との差を8秒まで縮めた。

最終6区では筑紫女学園の山元愛が経験と力の差をみせつけて逆転、西京に約250mの差をつけてゴールした。

連覇を狙った西京は一時、筑紫女学園に1分以上の大差をつけたが、層の厚さに屈した。2年前の覇者・熊本市立商が1秒差で九国大付をかわし3位に入った。

河村邦彦・筑紫女学園監督「3区終了時で60秒差ぐらいなら逆転も可能だが、2分近い差。後半に選手を集めたとはいえ、正直優勝はあきらめていた」

山元愛・筑紫女学園6区「タスキには、みんなの心が集まっている。その気持ちが精いっぱい走りをさせてくれた。全国大会(1区で32位)で迷惑をかけた先輩に恩返しが出来てホッとした」



最終区で逆転し3年ぶり4回目の優勝をした筑紫女学園・山元愛